

# 岡山の公民館

No.63

## 70周年記念号



岡山県公民館連合会70周年記念講演

### 公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定  
昭和35年10月1日 遊及適用

### 令和5年度 主な行事予定

- **令和5年度岡山県公民館連合会総会・研修会**  
期 日：令和5年5月23日（火）  
場 所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- **第45回全国公民館研究集会広島県大会**  
期 日：令和5年10月12日（木）、13日（金）  
場 所：広島国際会議場（全体会・分科会）

### Index

主な行事予定	1
挨拶・令和4年度表彰	2
令和4年度岡山県公民館連合会事業	3
第6回公民館職員が選ぶ！講座アワード	4、5
市町村出前講座事業・第34回全国公民館セミナー	6
第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会	7、8

令和5年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内

電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757

ホームページ [https://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/]



## 「岡山県公民館連合会発足 70 周年にあたり」



岡山県公民館連合会会長（岡山大学教授）熊谷 慎之輔

本年度は、岡山県公民館連合会が岡山県公民館協議会として昭和27年8月に発足して、70周年の記念すべき年度となります。70年は人間にたとえれば、「古稀」にあたります。「人生七十古来稀なり」といわれていた昔<sup>1)</sup>と今では、公民館を取り巻く状況も大きく異なりますが、公民館に求められる役割自体には変わりはないようです。つまり、公民館は、時代を超えて「個人やグループに対する学習支援」と「地域課題の解決やまちづくりに関わる地域づくり支援」といった2つの役割を果たしてきているのです<sup>2)</sup>。たしかに、コロナ禍によるオンライン化等、各時代の要請に対応した具体的な支援の内容や方法が変化していくことはあります。しかし、この2つの役割は公民館にとって普遍的なものであり、時代環境などの変化があっても特に変わるものではないといえます。

こうした公民館の役割や重要性については、昨年開催された第44回全国公民館研究集会岡山県大会であらためて確認し、2つの役割をふまえた公民館の今後について考える機会となったに違いありません。おかげさまで本大会は、YouTube開催にもかかわらず、当初の目標を上回る1,409名の方々にご参加いただき、大会を成功裏に終わらせることができました。これもひとえに、皆様方のご理解とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

最後に、70年といえば、論語の「七十にして矩をこえず」という言葉も有名です。70歳にもなれば心の思うままにふるまっても道理を外れることはないという意味ですが、それだけ年を重ねると、「人間力」がついてくるといえるのかもしれませんが。岡山県公民館連合会も70周年を迎え、ますます「公民館力」がついていけるように、関係の皆様には、今後ともご理解並びにご協力をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

注 1) 公民館が発足した戦後間もない頃、わが国の平均寿命は男女とも50歳代で「人生50年時代」は長く続いたとされる。  
2) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編集・発行『二訂 生涯学習論ハンドブック』2018年。

## 輝く令和4年度 受賞

### 文部科学大臣表彰 優良公民館表彰

#### ○最優秀館 岡山市立京山公民館

京山公民館では、約20年間にわたるESD（持続可能な開発のための教育）の取組により、環境問題、放課後の子どもの居場所づくり、地域文化の伝承、多文化共生、高齢者や障害者が安心して暮らせるまちづくり、交通問題解決のための事業、防災など広範な活動が行われている。

ESDの取組は、平成15年度の主催講座で子どもの視点を重視して、地区内の用水路の環境点検等を実施したことをきっかけに始まっている。平成18年度には、地区内の学校・大学・町内会等の各種団体・個人で組織する「京山地区ESD推進協議会（事務局：公民館）」が設立され、ESD活動の中心的役割を果たしている。

平成15年当時小学生だった子どもたちが大人となり、再び公民館活動に参加する好循環も生まれており、近年は大人も子どもも集う「みんな食堂」、食品ロス削減、大学生が地元の企業と連携して企画・運営を行い地域住民の健康づくりを推進する「SDGs・健康ウォークラリー」等の新規事業も立ち上がり、地域課題を「自分ごと」として行動する新たなまちづくりの担い手を生み出し、世代間の交流も活発になっている。

#### ○表彰館 矢掛町矢掛公民館

矢掛公民館は、1つの社会学級と18のクラブ、5つの専門部が小中高等学校・自治協議会・地区社協と連携し、地域課題解決のための様々な講座や行事を企画運営している。令和2年度に40周年の区切りを迎えるにあたり、記念誌『矢掛公民館40年のあゆみ』を発刊した。当館の活動の中では、特に地域で子どもを育てることを大切にしている。具体的には、夏休み・冬休みの学習会、小田川での生き物観察やあゆのつかみどりを行う「水辺の教室」等を実施している。

また、専門部の事業として実施した「高齢者とスマホを囲んで交流会」では、70歳以上の高齢者を対象に、公民館の教養文化部員や矢掛高校生が講師となり、対話形式による個別指導を行った。

学びを止めないことをモットーに、コロナ禍においても公民館として何ができるかを考え、地域の人達とのつながりを大切に、デジタルデバイト解消や地域課題の解決に向け、ICTを活用した事業等を展開している。

### 全国公民館連合会表彰(4名)

【永年勤続職員表彰】 小谷 文子(岡山市立灘崎公民館 公民館主事) 高森 望(岡山市立操山公民館 公民館主事)  
西村 正美(岡山市立京山公民館 公民館主事) 山口 すみれ(吉備中央町津賀公民館 主事)

### 岡山県公民館連合会表彰(14名)

【優良職員表彰】 江田 拓志(岡山市立万富公民館 副主査) 三村 知世(岡山市立上南公民館 公民館主事)  
大谷 景子(岡山市立大元公民館 公民館主事) 入矢 裕一(岡山市立瀬戸公民館 副主査)  
浅原 好博(倉敷市倉敷公民館 主任) 福田 真澄(津山市院庄公民館 館長)  
柿本 裕(津山市二宮公民館 館長) 石田 陽子(玉野市立玉原公民館 館長)  
広畑 仁志(玉野市立和田公民館 館長) 植木 哲夫(高梁市有漢公民館 前館長)  
佐野 金司(高梁市成羽公民館 前館長) 木林 りみこ(吉備中央町吉川公民館 主事)  
嶋山 英二(岡山県公民館連合会 前副会長)

【感謝状】 村木 生久(岡山県公民館連合会 前会長) (敬称略・順不同)

# 令和4年度 岡山県公民館連合会事業

## 理事会・総会・第1回研修会

開催日／令和4年5月19日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【理事会・総会】 ○令和3年度事業報告・決算報告及び監査報告  
○令和4年度事業計画(案)及び予算(案) 他

【内容】 ○講義 「公民館職員の腕まくりで人と地域を結ぼう  
—社会教育機関としての公民館—」  
講師 京都府立大学公共政策学部 准教授 田所 祐史 氏

○情報交換

岡山県の公民館設立当初の様子等を史資料を読み解きながら、社会教育や公民館の果たす役割とその重要性についてご教示いただきました。



## 第2回研修会【公民館関係職員初任者研修】

テーマ「公民館職員のための事業づくり基本講座」

【県北会場】 開催日／令和4年6月15日(水) 場所／美咲町柵原総合文化センター

【県南会場】 開催日／令和4年6月23日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【内容】 ○講義(オンライン) 「これからの公民館に求められるもの」  
講師 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 馬場 裕次郎 氏  
○演習 「『公民館職員のための事業計画ハンドブック』を使った事業づくり」  
アドバイザー 瀬戸内市牛窓町公民館 館長補佐 長尾 幸 氏  
吉備中央町吉川公民館 主事 木林 りみこ 氏

講義では、社会教育と生涯学習の違い、公民館の役割等について、事例を交えながら話をいただきました。演習では、「公民館職員のための事業計画ハンドブック」作成委員にアドバイザーとして参加いただき、事業づくりを行いました。



## 第3回研修会

テーマ「地域の『夢』を育む“しかけ”を考える～アワード受賞館から学ぶ公民館活動～」

開催日／令和4年9月2日(金) 場所／岡山県生涯学習センター

【内容】 ○事例発表 令和3年度「第5回公民館職員が選ぶ!講座アワード」  
発表館 西粟倉村あわくら会館、岡山市立東公民館、倉敷市福田公民館  
○演習「描こう!地域の『夢』を育むストーリー  
～これから取り組む“人づくり・つながりづくり”～」

「第5回公民館職員が選ぶ!講座アワード」受賞館の実践発表をとおして、地域課題の解決や人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた自館の取組への活用を考えました。



## 第4回研修会

テーマ「研究集会分科会を視聴して地域の『夢』を育む公民館活動について語り合おう」

【A・B日程】 開催日／令和4年12月1日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【C日程】 開催日／令和4年12月8日(木) 場所／津山市中央公民館

【D日程】 開催日／令和4年12月15日(木) 場所／倉敷市民学習センター

【内容】 ○意見交換

第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会の分科会の動画配信を視聴し、グループで意見交換をしました。



## 第5回研修会 兼 岡山県公民館連合会70周年記念講演

テーマ「公民館って面白い!?公民館の魅力とは!?つくろう!!地域の『夢』を育む公民館」

開催日／令和5年1月24日(火) 場所／岡山県生涯学習センター

【内容】 ○第6回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」表彰式(詳細は、P4・5)  
○講演「公民館って面白い!?公民館の魅力とは!?～全国の公民館をめぐって～」  
講師 公民館大好き芸人 ユーチューバー わさびちゃん  
公益社団法人全国公民館連合会 事務局次長 村上 英己 氏

第6回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」のグランプリ・準グランプリ・3位の発表と表彰を行いました。その後、岡山県公民館連合会70周年を記念して、公民館利用者の立場から公民館の魅力について講演をいただきました。

# 第6回 公民館職員が選ぶ!

本年度、第6回を迎えた「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により公民館活動が制限される中、県内の公民館から113の「おすすめ講座」が提出され、その中から47の実践がアワードにエントリーされました。本当にありがとうございました。

投票された公民館職員から「各館の取組は、地域課題の解決に向け、地域性を生かした取組が多くあり、大変参考になります」「他地区の取組を知る機会が限られているので、こうした機会は大変ありがたいです」「講座アワードがきっかけで、他地区の公民館職員同士で交流できるのが良いです」といった多くの感想や応援メッセージをいただきました。中には「とても有意義な講座が多数あって、自館にも取り入れたいと思います」「日々、利用者の方に喜んでもらえ、つながっていける講座を考えていこうと思います」という声も届いています。

これからも「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」の取組が、各公民館にとって「情報交換の場」「アイデアの泉」となるように温めていきたいと思っています。

ぜひ、各公民館の頑張りや新たな挑戦、ちょっとした工夫などをおすすめ講座として提出してください。県内の公民館活動の充実に向けて、来年度の講座アワードも、多くの公民館からのエントリーをお待ちしています。



## グランプリ

「持って来られ~文房具」  
 & 「持って帰られ~文房具」  
 岡山市立北公民館 (21票)



講座アワードにエントリーされた全館の実践報告は岡山県公民館連合会のHPからご覧いただけます。



岡山市立北公民館

「持って来られ~文房具」  
 & 「持って帰られ~文房具」

生活困窮・家庭支援

◆ねらい  
 当公民館では「リサイクル食器コーナー」を常設していて、食器を持ってきたり、持ち帰ったり、日頃からリサイクルが活発に行われている。コーナーを見た方から「文房具も受け付けてもらえないだろうか」「子どもが大きくなっていない文房具があるがもったいないので捨てられない」という声を何度か聞いていた。その一方で生活困窮家庭の子どもが社会的に問題になっている。そこをうまくつなげ、ごみ減量と困窮家庭の支援にしたい。

◆「持って来られ~文房具」  
 学校にチラシを配布したり、公民館だよりに掲載したりして家庭で取っている文房具を公民館に持ってきてくれるよう呼びかけた。学年が変わったり、小学校から中学校上がったりで使わなくなった文房具や経過中で片づけている高齢者などからたくさん文房具が集まった。

◆「持って帰られ~文房具」  
 必要な子どもの手に届くよう、公民館だけでなく、日常生活に困難を抱えるひとり親家庭や生活困窮家庭と支援団体をつなぐメールマガジン「おかもま親子応援メール」で情報を流してもらった。当日は、朝早くから、学区内外の家族が列を作った。コロナ禍で入場制限をしながら行い、子ども一人につき10点までの文房具を持ち帰ってもらった。最終的には文房具が約2000点集まり、200人ほどの子ども達が好きな文房具を選んで持ち帰った。子どもが笑顔で「ありがとう」と言ってくれたり、保護者から「たくさん選べてよかったね」「助かります」という声が聞かれたりした。

◆これから...  
 今後も実施したい。今年度は途中で文房具が足りなくなり、急遽、来館者や知り合いに声をかけることになった。次回は事前に地域団体に呼び掛けるなど、協力をお願いし、地域全体でごみ減量や貧困について関心を持つきっかけになるよう働きかけたい。当初の予想より来館者が多く、混雑した場面もあったので、次回は若者や地域の方に協力をお願いし、スムーズな運営を心掛けたい。また、困窮家庭の子ども体験の機会を増やすため、地域の方と一緒に遊びや工作などの体験コーナーも企画したいと考えている。

### 投票理由

- 文房具に絞った再利用の事業は新鮮でした。文房具の提供を公民館が呼び掛けることで、子どもから高齢者まで参加することができおり、子どもたちも物品の再利用の体験ができ、ごみ減量についても考えることができたのではないかと思います。そして、新型コロナウイルス感染症の拡大が3年に及び、楽しい行事が中止されたままになっている中で、子どもたちに好きな文房具を選ぶ喜びを感じる機会を提供できたことが、今でこそこの事業だと思いました。
- 直接顔を合わせる事業ではないけれど、公民館をハブとして、年齢に関係なく多くの方が関われる事業だと思いました。
- ごみ減量と生活困窮・家庭支援ができる活動で良いと思いました。このような事業をきっかけに地域全体がつながり、幅広い世代が気兼ねなく公民館を利用してもらえるようになればと思い、参考にさせていただきたいと思いました。

# 講座アワード

## 準グランプリ

### 「未来商店街」

久米南町中央公民館 (20票)



#### 投票理由

- 次世代を担う中高生が、地元の活性化に取り組みながら、地域団体やお店(=地域社会での仕事の一つ)とつながっていったところが良いと思いました。また、商品開発については、「(子どもである)自分たちが考えたことが、目に見える形になり、社会の一コマになる」ということが、若い世代の自己肯定感を高めること、自信にもつながり、みんなが Win-Win の関係になったのではないかと思います。
- 中高生が地元の地域団体と連携し、自分たちのまちの「推し」を考えることによってまちの良さを見直したり、あらたな魅力を発信したりする取組が非常に面白く感じました。子どもが自分たち自身で商品開発し、それを売り切った達成感は何物にも代えがたい経験になったのではと思いました。
- 中高生の活動が、地域の活性化に非常に貢献したと思いました。明るい未来性を感じました。



## 第3位

### 「池の生きもの調査隊」

倉敷市船穂公民館 (19票)



#### 投票理由

- 小学生が対象ということで、子どもの好奇心をくすぐるような内容が面白いです。また大人にとっても、身近な地域の再発見となり、子どもから大人までワクワクのつまった講座だと思いました。
- 公民館の前にある池で、水生生物の観察・採集ができる環境は素晴らしいです。またその環境を生かして、親子で地域の自然環境を保護することを考える(SDGsの目標11、17)講座であるという点も素晴らしいと思います。
- 子どもも若い保護者も身近な自然にふれることが少ない現状で、このような機会を作り、関心を持ってもらうことはとても有意義なことだと思いました。机上だけではなく立地を利用して館オリジナルの講座になっていると思いました。



# 市町村出前講座事業

## 公民館職員のための「事業計画ハンドブック」

公民館職員に必要なスキルの習得ができる研修を各市町村で効果的に進められるよう、令和3年度、県内公民館の職員の方々4名を作成委員として委嘱し、特定非営利活動法人岡山NPOセンター代表理事 石原達也氏の御指導・御助言をいただき、地域資源の見つけ方や、目的・目標の設定の仕方、評価の方法など、効果的な事業・講座を作る上で欠かせない内容を詳しく学ぶことができる「公民館職員のための事業計画ハンドブック」を作成し、全館に配付しました。

令和3年度から、このハンドブックを活用し、市町村からの要請に応じて連絡会や公民館研修会等に岡山県公民館連合会が出向いて、実態に応じた研修等を行う支援をしています。



## 市町村出前講座の主な内容（市町村の要望に応じて研修内容を作成）

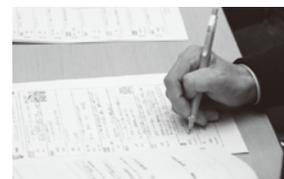
【説明】 公民館とは「目的と仕事」及び「今後の公民館に求められていること」（ハンドブック8ページ）

【演習1】 PART1 「地域のことを知って、課題・取り上げたい資源をしばりこもう」（ハンドブック4～7ページ）

【演習2】 PART3～7 「目的・目標を考えよう」「事業の内容を考えよう」「人を巻き込もう」「評価の仕方を考えよう」「事業計画書を作成しよう」（ハンドブック10～17ページ）

【演習3】 「たしかめよう！わたしの公民館」

ワークシートを通して、自館の公民館活動について整理する。



## 市町村出前講座の参加者の声

「自館の抱えている課題に客観的な視点から気付くことができ、今後の講座づくりに生かせそう。」

「分かりやすい（公民館が初めての職員にも分かりやすい！）ハンドブックなので、使いやすかった。事業計画時にしっかり使用していきたい。」

「事業計画ハンドブックを熟読し、参考にしながら事業や講座を計画していきたい。」

「演習は、手順を踏んだ計画・立案に役立ちそう。」

「事業計画について漠然としていたものがハンドブックを利用することで、道筋をつけて理論的に考えることができた。」

アンケートでは、PART1「公民館本来の役割や今後の公民館について理解を深めることができた」との回答は98%。PART3～7「自館での事業計画に活かすことができそうだ」との回答は93%。各市町村の公民館担当者や市町村出前講座の参加者に大変好評です。

市町村出前講座は、令和5年度までの3年間で全市町村で実施する予定です。単市町村での実施が難しい場合は、近隣市町村との合同実施も可能です。市町村の実態や学びたいこと、時間に応じた研修ができます。ぜひ、市町村出前講座を御活用ください。



# 第34回全国公民館セミナー

令和5年1月11日(水)～13日(金)の3日間、丸の内マイプラザホールにて開催された「第34回全国公民館セミナー」に参加されたお二方の感想を紹介します。

### ◆岡山市立東公民館 主任(社会教育主事) 猪原 一道

講義や実践報告を踏まえながら、多様な視点から「公民館のミライ」像を出し合い、その実現に向けたコラボ(協働)を考えながら各グループで企画書をまとめていく作業が刺激的で、多くの学びがありました。

「公民館のミライは地域のミライでもある」との言葉。地域の持続可能性を考える上で、特に若者とのコラボは欠かせません。若者とつながり、学び、実践へと結びつけていくこと。今回の学びを生かして取り組んでいきたいと思えます。

### ◆倉敷市福田公民館 公民館指導員 秋山 京子

今回のセミナーでは、異分野の視点を取り入れた新しい学びがありました。「デザイン」「アート」「クリエイティブ」な思考をプラスし、既成概念にとらわれないアイデアや工夫を取り入れる手法は興味深く面白かったです。異質のコラボで世界を広げた実践例やデザイン的な余白の必要性も知ることができました。この学びを多くの仲間と共有し明確な役割を持って外に広がる、つながる、未来の公民館をデザインしていきたいと思えます。

# 第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会

本研究集会は、「地域の『夢』を育む公民館活動」をテーマに、10月21日(金)～12月21日(水)にYouTube動画配信という形で開催し、1,409名(県内参加者538名、県外参加者871名)の方にご参加いただきました。

公民館の役割である「つどう・まなぶ・むすぶ」身近な学習施設として、人口減少や少子高齢化などの社会全体の問題に対し、これまで培ってきた地域との関係を活かしながら、地域住民一人一人の「こうなりたい」「こうありたい」という「夢」を育み、地域課題の解決に向け行動するための学びの場として、中国・四国地区の公民館関係者をはじめ、生涯学習・社会教育関係者が、地域の「夢」を育んでいくこれからの公民館活動の在り方について研究協議を行いました。

## 開会のことば



島田 旭 副委員長

## 大会宣言



友田 邦彦 副委員長

## 閉会のことば



谷岡 理江 副委員長

## パネルディスカッション

**テーマ** 「地域の『夢』を育む公民館活動」～世代間交流のシカケが地域のミライをつくる～

**コーディネーター** 岡山大学 副研究科長・副学部長  
学術研究院 教育学域 教授 熊谷 慎之輔

### パネリスト

特定非営利活動法人岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也  
岡山県岡山市立西大寺公民館 館長 内田 光俊  
島根県益田市教育委員会協働のひとづくり推進課 ひとづくり推進監 大畑 伸幸  
広島県大竹市立玖波公民館 公民館職員 河内 ひとみ



### 参加者の声 (アンケートより)

- 4人のパネリストがそれぞれの立場から発表されましたが、その根底にあるものは共通して「地域への愛」であり、これからどうしたいかを真剣に考える姿勢だと感じました。求められているものは何か、常にアンテナを張り、どこかだけが頑張るのではなく、あらゆる世代を巻き込んでトライする。やってみて評価する。「PRIPC」特に「RI」は大切。公民館はその拠点であり、次世代に伝える使命を持つ。わが町に置き換えながら聴きました。「さあどこから始めるか!」と、背中を押していただいたような気持ちになりました。
- パネルディスカッションでは多くの気づきや学びをいただきました。公民館の今後の方向性や公民館が果たさなければいけない使命となるヒントがたくさんあり、大変勉強になりました。「元氣を出して、変わっていかねばならない」と痛感しました。

## 分科会 (岡山県発表館)



**第1分科会：高齢者の活躍**  
「高齢者の活躍から考える将来の公民館活動について」  
岡山市立富山公民館 館長 澁谷 壽郎

### 参加者の声(アンケートより)

- ・ 地域と関わることで、幸福度が増すというのは目からうろこで、高齢者の支援だけでなく、元気な方には社会貢献活動に参加していただくことも大切だと学ぶことができました。
- ・ 高齢者がテーマになると課題ばかりが出てくるなかで、未来志向の取組を御紹介くださり、「夢」を育む公民館活動を知ることができました。



**第2分科会：多様な主体との連携・協働 (企業連携等)**  
「多様な組織との連携によるESD・SDGsの取り組みについて」  
岡山市立京山公民館 館長 内藤 元久

### 参加者の声(アンケートより)

- ・ 多様な組織と連携することで、幅広い学習が出来ており、公民館活動に参加した子が、大人になってまた公民館活動に参加している姿がすばらしいと思いました。
- ・ 多様な組織、子どもたちの参加のつなぎ役として、持続可能な社会づくりを目指して公民館がどのような役割を果たせば良いのか、大変勉強になりました。



### 第3分科会：防災・減災（安全・安心）

「『のおー!みんなあー!そがんことなら みんなで やらにゃー おえまあー!!』～災害復興から防災・減災へ～」  
総社市昭和公民館日美分館 分館長 樋口 長郎

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・災害復興祭を続けることが目標になることなく、行うことの目的をしっかりと持って、昭和地区が防災・減災に強い地区となられることを期待しています。
- ・豪雨災害という大変な経験を復興の力にして、前向きに地域を盛り上げていこうとする思いが伝わる取組だと感じました。



### 第4分科会：人権意識の醸成

「公民館における人権教育の推進～人権尊重意識の醸成を目指して～」

倉敷市庄公民館 館長 小村 勝

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・人権教育は、公民館での様々な活動に関連しており、避けて通れませんが、それを意識して、意図的に取り組んでいくことは、エネルギーがいると思います。様々なつながりを大切に広げていかなければいけないなど刺激を受けました。
- ・人権について正面から、系統立てて取り組んでおられることがすばらしいと思いました。



### 第5分科会：学校・地域との連携・協働

「公民館と学校の連携による、地域の活性化と地域を担う人材の育成～『SDGsセミナー』を通して～」

倉敷市玉島西公民館 館長 山根 敬仁

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・地域の取組や課題に対して、高校生を巻き込んで共に考え実践していくことで、高校生は主体的に取り組む姿勢を持ち、地域はより活性化し元気になっている姿を見て、公民館としてのやりがいを感じると感じました。
- ・チャレンジと人の縁なくして公民館の未来はないのかなと感じました。



### 第6分科会：特色を活かした地域づくり（伝統文化含む）

「1ターンが増加する村で、人と人をつなげるハブ役になる～生きるを楽しむためのつながりをサポート～」

西粟倉村教育委員会（あわくら会館） 副館長 白岩 将伍

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・村民講師について、1ターン者だけではない村民の仕事や特技を活かした仕組みになっていて、すばらしいと思いました。誰もが講師になれる、ハードルを下げて、人の得意を広める事と生涯学習の結びつきに感動しました。
- ・住民主体で進められていることが大きなポイントだなと感じました。



### 第7分科会：若者の主体的な参画

「中高生が活躍！くめなん未来商店街」

NPO法人らんたん 職員 明楽 香織、久米南町中央公民館 主幹 小藤 寿美

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・中高生の活躍、すばしかったです。できることを見つけて、形を変えながら継続していることが参考になりました。
- ・子どもたちの興味があること、成長段階にあった事業を行うこと。また、その際に学校や地域を巻き込むことの重要性を学びました。



### 第8分科会：子育て・家庭教育支援

「子どもの成長を公民館と有志の保護者グループで支援

～親子で遊びを楽しむ中でふれ合い、子どもの健やかな成長を願う公民館主催講座『うさぎの学校』～」

瀬戸内市長船町公民館 主幹 小橋 純子

#### 参加者の声(アンケートより)

- ・長年、保護者の支援とお子さんの育ちを支援されていて、卒業された方がスタッフになっているのが素敵でした。
- ・参加者が減少する中、知恵と工夫で盛り上げていらっしゃるのですばらしいと感じました。

## 「第45回全国公民館研究集会広島県大会 兼 第45回中国・四国地区公民館研究集会広島大会」のお知らせ

【大会テーマ】 「学びから始まる地域づくり ～新しいコミュニティの創造～」

【日時】 令和5年10月12日（木）、13日（金）

【場所】 広島国際会議場(全体会・分科会) 広島市中区中島町1-5（平和記念公園内）